講義名	臨床心理アセスメント			授業形態		その他	続いたし 必要に広じてブロント姿刻を配左し 雑葉山内海宮会を立か	±470∧±2.2°			
		開講期·曜日·時限 後期 木曜日 4時限				<b>教科書</b> I	特になし。必要に応じてブリント資料を配布し,講義内で適宜参考文献:	を紹介する下走。			
担当教員	隈元 みちる			1+5.18115.8							
		単位数 2 履	修開始年次 2年生	ナンバリング・コ ード CLP281	1						
題と概要						100 <del>114</del> 7 1 10					
臨床心理アセスメントとは、心理支援のために、関わりをもつ相手の現在の状態や,その状態の背景として想定されるものを捉えようとする試みである。そのためには、どのような支援を目指すのかという 支援者側の33時や目標も明確にする必要がある。その上で、支援を行うために必要な情報を整理し、その情報に近づくためのアセスメント方法を追ぶ、という手順となる。 本通義では、最近心理アセスメントとこいに、末年は上記のような登量となる考えが表態し、古をに来郷の健康保持で用いられている時々なアセスメントが表を持ずる。アセスメントの実際をより理解するために、臨床時間で用いられるこの多いも受けたのよいで表現した。 解するために、臨床時間で用いられることの多いも理検査を中心的に取り上げ、各様型の歴史的背景や実施方法を学習の上、実際に検査を停禁してもらう。そして、心理アセスメントをどのように支援に活かせそうかについて制御の機会を設ける。						授業計画					
本講義では、臨床の理プセスメントについて,まずは上記のような基盤となる考え方を解説し,さらに実際の臨床現場で用いられている様々なアセスメント方法を詳述する。アセスメントの実際をより理解するために、臨床現場で用いられることの多い心理検査を中心的に取り上げ,自検査の歴史的背景や実施方法を学習の上,実際に検査を体装してもらう。そして,心理プセスメントをどのように支援に活 かはようれてついて対象の機会を訪ける						予習内? 復習内?	::シラパスを見て、自分が興味を持った内容をまとめておくこと(120: :講義プリントやノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること アメントの実際: NHO 001/2007 (大野)	分) (120 分)			
かせてつかについて割繰の焼気を改ける。						1. オリエンテーション、臨床心理アセスメントの概認 予留内容:シラバスを見て、自分が興味を持った内容をまとめておくこと(120 分) (復国内容: 漁費ブリントや)-ト を整理・復国・授業内容の理解を決めること(120 分) 2. プセスメントの実際: 180 00.50の概念・代勢 「自然の音・選邦プリントを、1-1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2					
						3. アセ 予習内? 作器内?	スメントの実際:TEG 検査の概説・体験 :調義プリントを見て、自分が興味を持った内容をまとめておくこと(* : 端義プリントをリートを教理、復興・振舞・原名の理解を認めること(*	120分)			
						4. ア1 予習内?	・調義メリントでフェービを生涯、複音し、技業内谷の注解を求めること、 スメントの実際:FEG 検査の応用 ・:講義プリントを見て、自分が興味を持った内容をまとめておくこと(*	120分)			
						復習内? 5. アセ 予盟内3	: 講義プリントやノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること スントの実際 : ウェクスラー式知能検査、検査の概説 :・講義プリントを目で、自分が順味を持った内容をまとめておくこと(*	(120分)			
						復習内?	複数内容 : 調菓プリントやブートを整理 : 複数 ()、授業内容の理解を収めること (120 分) 6 。アセスメントの実際 : ウェクスラー 式加降性機 : 株型の体験をの 1 ~ 1 ~ 1 ~ 1 ~ 1 ~ 1 ~ 1 ~ 1 ~ 1 ~ 1				
達目標						予督内報 復習内報 7. アヤ	「日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本				
臨床心理アセスメントの基盤となる考え方や実施の流れについて理解できるようになる。 特定の検査法について、その検査がもたらす情報や実施手順を理解できるようになる。 特定の検査法について、その機乗をどのように支援に活かすことができるかを考えることができる。						予習内? 復習内?	予部内容・講義プリントを見て、自分が解除を持った内容を老とめておくこと(120 分) (複別内容・演義プリントやフトートを整理・復復)、授業内容の対策を返めること(120 分)				
<b>祠定の模置法について,七の結果をどのように支援に店かすことができるがを考えることができる。</b>						子音的音: 演奏ブリントを見て、自分が開味を持った内容をまとめておくこと(120 分) (音音) 内容: 近海東ブリントや J - ト を整理・信息					
						9. アセ 予習内? 作器内?	スメントの実際: MSSM (交互ぐるぐる描き物語統合法)の体験 : 講義プリントを見て、自分が興味を持った内容をまとめておくこと( : ************************************	120分)			
						10. ア1 予習内報	- 開教プリントです。 1-Eユ	120分)			
						復習内? 11. ア1 予習内?	復置内容: 講義ブリントヤノートを整理: 復置し、授業内容の理解を認めること (120 分) 11 知了セスメンドの実際: ドボクテイ元・練送の30月 中間を本土 トルアモン トレ (100 公)				
						復国内容 : 議義プリントやブートを参理 * 復国り、授業内容の理解を没めること (120 分) 22、アセンスと) シの実際 : ドイアステズ・・技具・バートの書き方。					
						ア省内報 復習内報 13.ア1	: 調義メリノトを見て、自方が興味を持った内谷をまこのでのてここで : 講義ブリノトやノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること スメントの実際: 風景構成法検査の体験その1	(120分)			
出課題	/ お練展の優山ももば如土機筋の優山を乗して、機筋の中空気の	*************************************	9+4=5								
講義内で取り組んだ課題の提出および期末課題の提出を求める。課題の内容等の詳細については講義内で説明を行う。						14. アセスタントの京原: 周素順点法検索の体験での2・アセスタントのでは、アセスタントの京原: 周素順点法検索の体験での2・アセスタントの京原: 周素順点法検索の体験での3・アセスタントの京原: 国際制度の2・アセスタントのでは、1920年の1920年では、1920年では、1					
						15. 本ii 予習内? 復習内?	嚢の総括・アセスメントレポートの作成・期末レポート設明 ::これまでの講義ブリントを見直し、疑問・質問をまとめておくこと(* ::これまでの講義ブリントやノートを整理・復習し、授業内容の理解を:	120 分) 深めた上で最終課題に			
						取り組む *この記	こと(120分) 画を基に,講義受講学生の興味や理解に応じて一部変更の可能性有り	AND THE CARREST OF THE PARTY OF			
<b>!題(レポー</b> │	トや小テスト等)に対するフィードバックの方法										
提出された課題については、課題全体を通して特に気になった点および今後の課題において留意してほしい点について講義時に解説を行う。							《 ( アクティブ・ラーニング ) ア: PBL ( 課題解決型学習 )		✓、「紅坂業 / 知識原得の囲寒去坂業A	・に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)	
							ア・FDE (		1. 反WATC来(知識自行の安泉を授業が エ: グループワーク	に対よせ、川崎雄節寺の安泉で教主(1)プ技業が恋り	
							オ:ブレゼンテーション		カ:実習、フィールドワーク		
							キ:その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない <sup>は</sup>	易合)			
						卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
						千米総と、子田(女司の/万封)に 日後(女衆代日の)関連 歴史の理アセスメントの基礎を学ぶことは、多様な状況下で、人々がどのような心理状態でいるかを汲み取ることに繋がっている。また、代表的な心理検査法やその支援方法を理解することは、健床心理的な視点で 人々の持つ悩みに触れ、どのように相手と関わるかを学ぶことになる。これらは、卒業認定・学位授与の方針に沿ったものであり、先に記載した到達目標 - を達成することでもある。					
である。						人々の	<b>うつ悩みに触れ,どのように相手と関わるかを学ぶことになる。これらは</b>	: , 卒業認定・学位授与の方針に	こ沿ったものであり,先に記載した到達目を	凛 ~ を達成することでもある。	
各講義回の提出課題(80%),期末課題(レポート試験)(20%)											
	ての注意・助言他					双方向抗	登業の実施及びICTの活用に関する記述				
講義で取り組む各心理検査については,各自の特性や人格が少なからず反映されるものであることから,互いを専重し,必要な場合には秘密を保持する姿勢が必要である。 また,他の人の邪魔になるような行為(私語,スマボ等での過話等)は認めない。											
						宇教奴目	の有無及び活用				
						大切經過	W HIMAU / III				
of V ale											
(科書 .使用しない.		1	ı	I	_						
		1	+		+	/#i ≠×					
考図書						備考					
.なし.					T						
		_			_	1 I					